

# 県内在住外国人人数等の状況

多文化共生とは

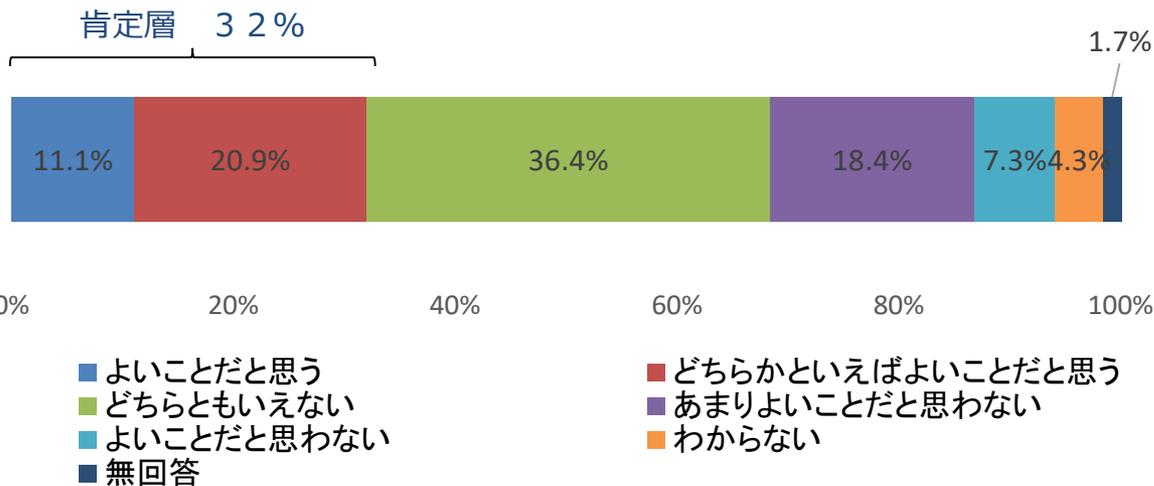
国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

(H18.3 多文化共生の推進に関する研究会 報告書)



# 在住外国人との共生について（県政世論調査）

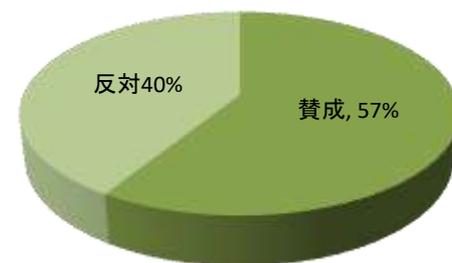
平成20年度



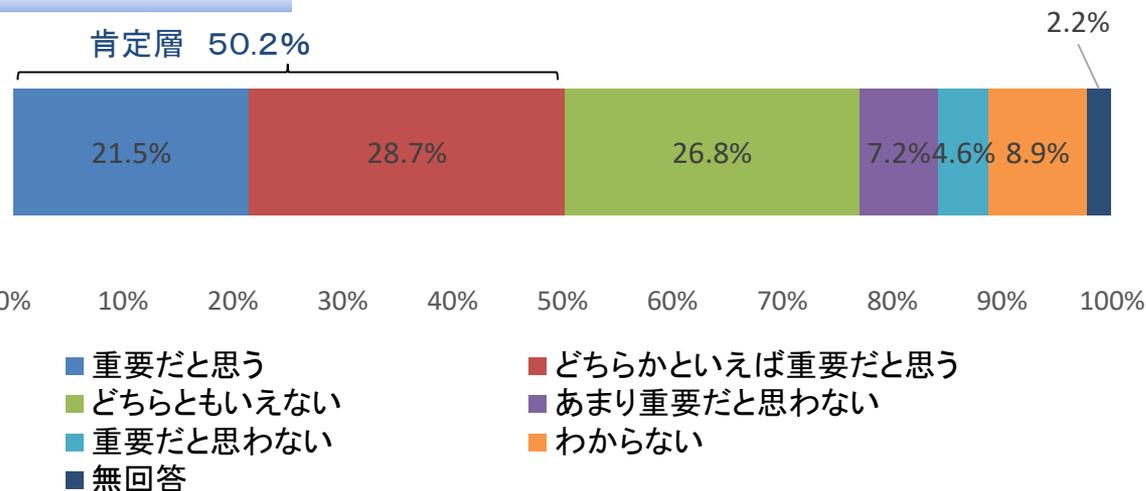
<参考>

外国人材に関する全国調査（読売新聞R1.5.5）

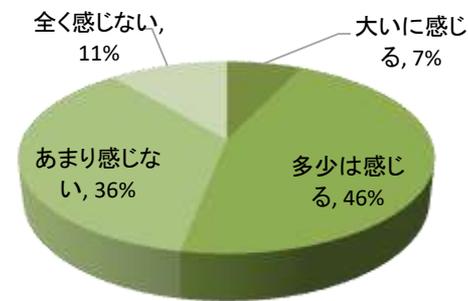
外国人労働者の受け入れ拡大について



平成30年度



外国人が近所に住むことへの抵抗感

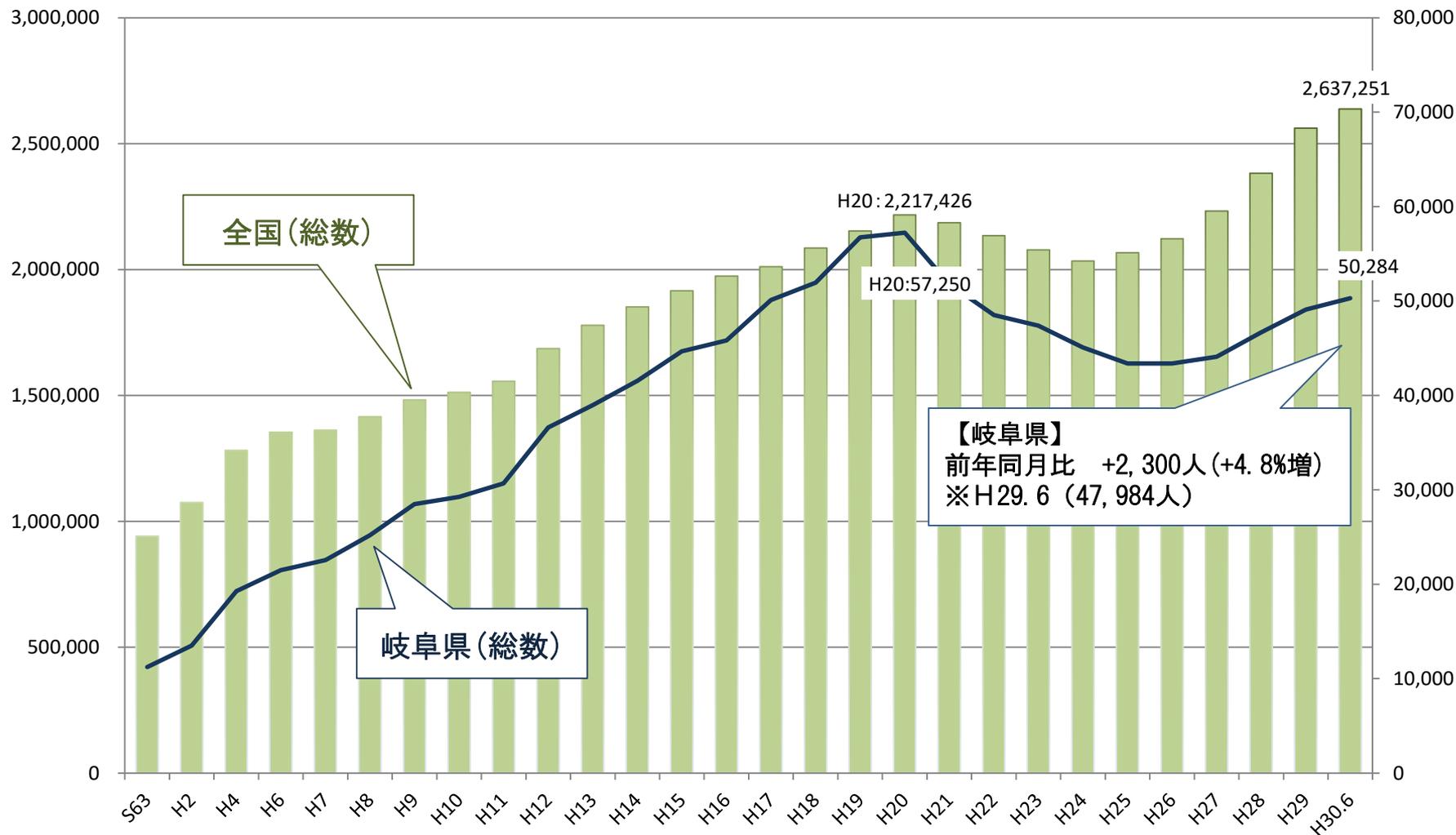


# 全国と岐阜県の在住外国人の推移

〔県調べ／法務省「在留外国人統計」〕  
各年12月末時点（H16～18は4月1日時点）、H30は6月末現在

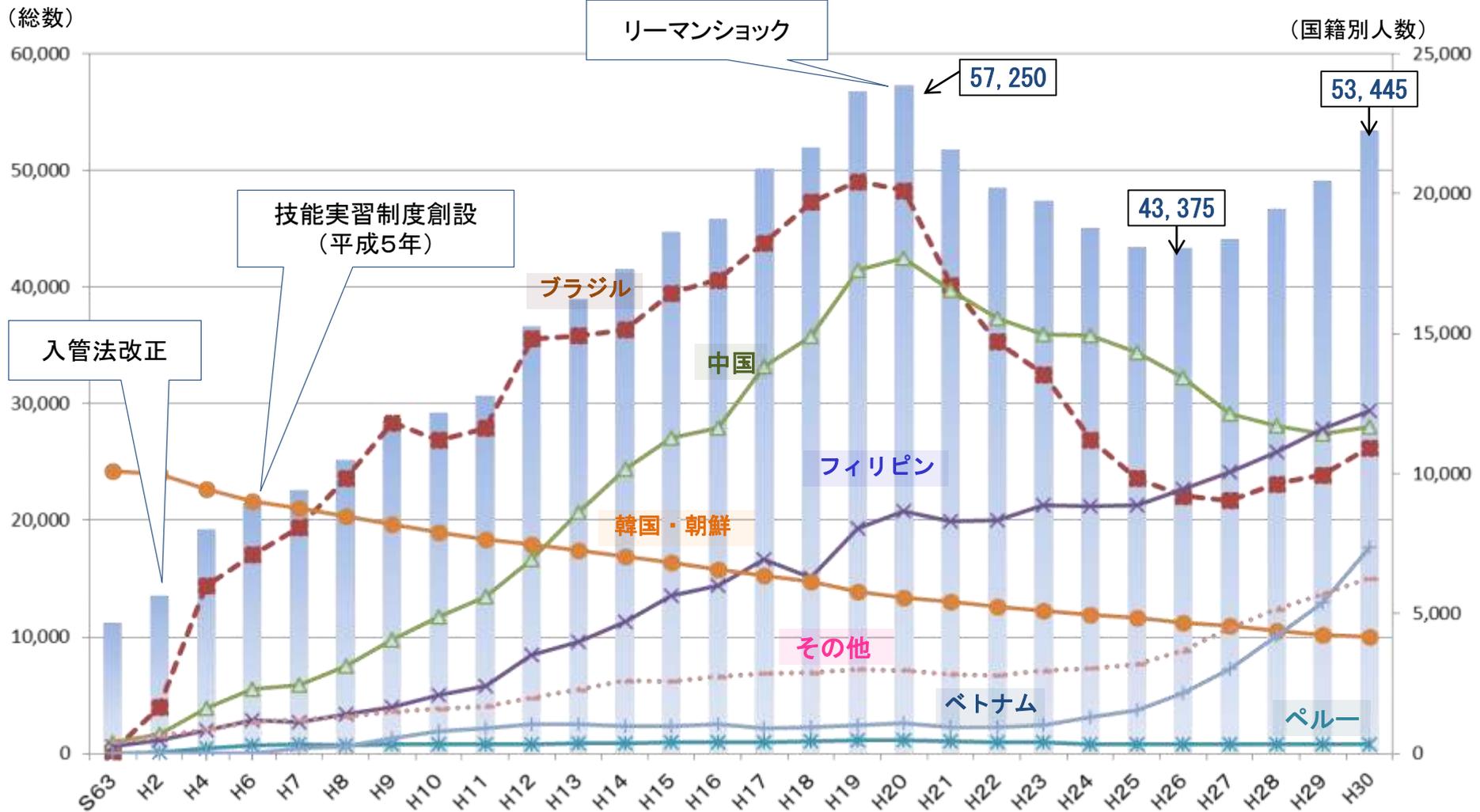
（全国、人）

（岐阜県、人）



# 県内在住外国人の総数と主な国籍別推移

〔県調べ／法務省「在留外国人統計」〕  
各年12月時点（H16～18は4月1日時点）

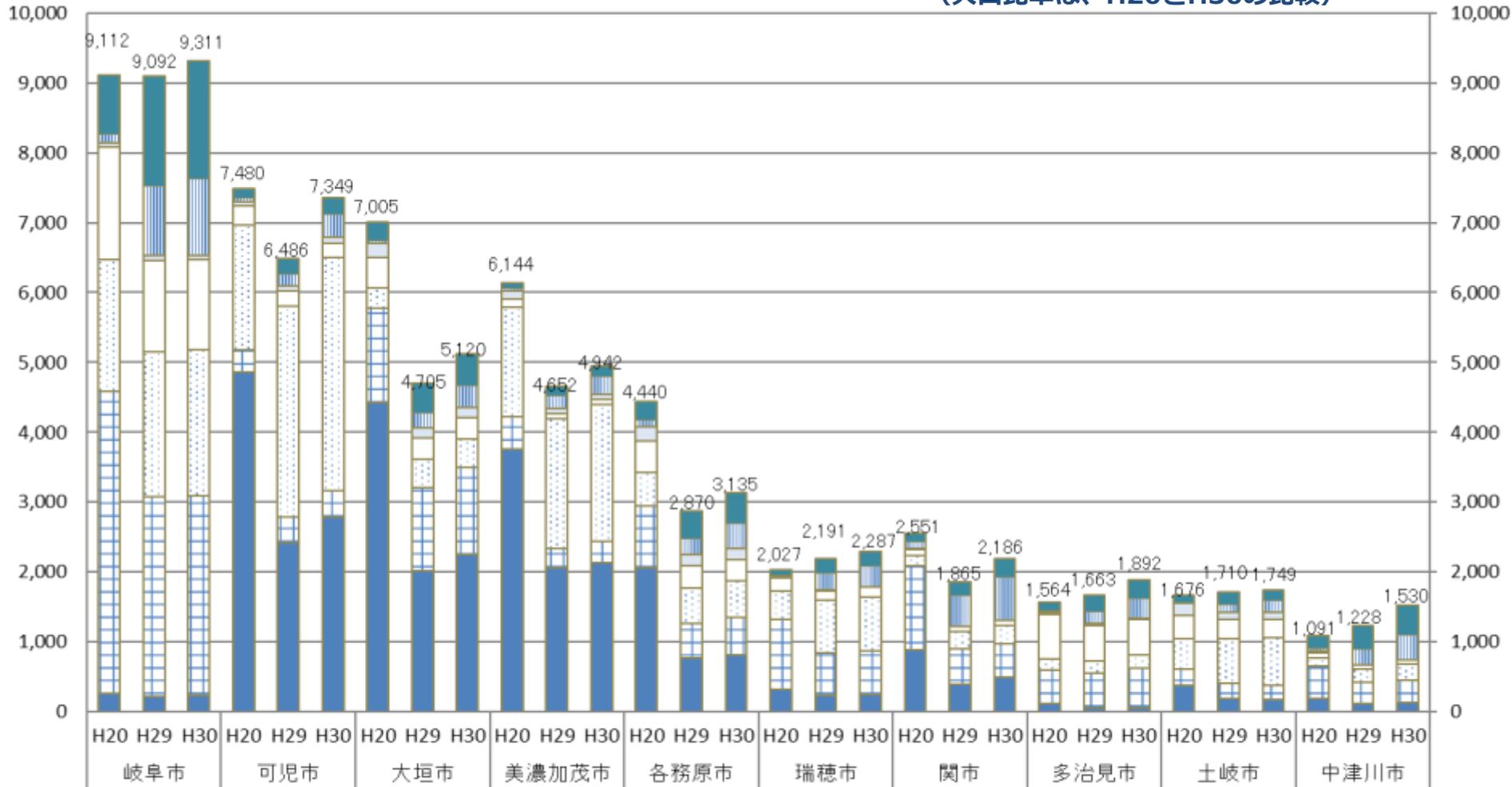


国籍別では、多い順にフィリピン、中国、ブラジル、ベトナム  
「その他」では、インドネシア、ネパール、タイ、カンボジアなどが増加傾向

# 市町村別在住外国人人数（上位10市）

〔県調べH20は12月末、H29は6月末時点、H30は12月末時点〕※市人口は、人口動態統計調査（県統計課）[H21.1.1、H31.1.1現在の人口]

※H20（ピーク時）、H29、H30との比較  
（人口比率は、H20とH30の比較）

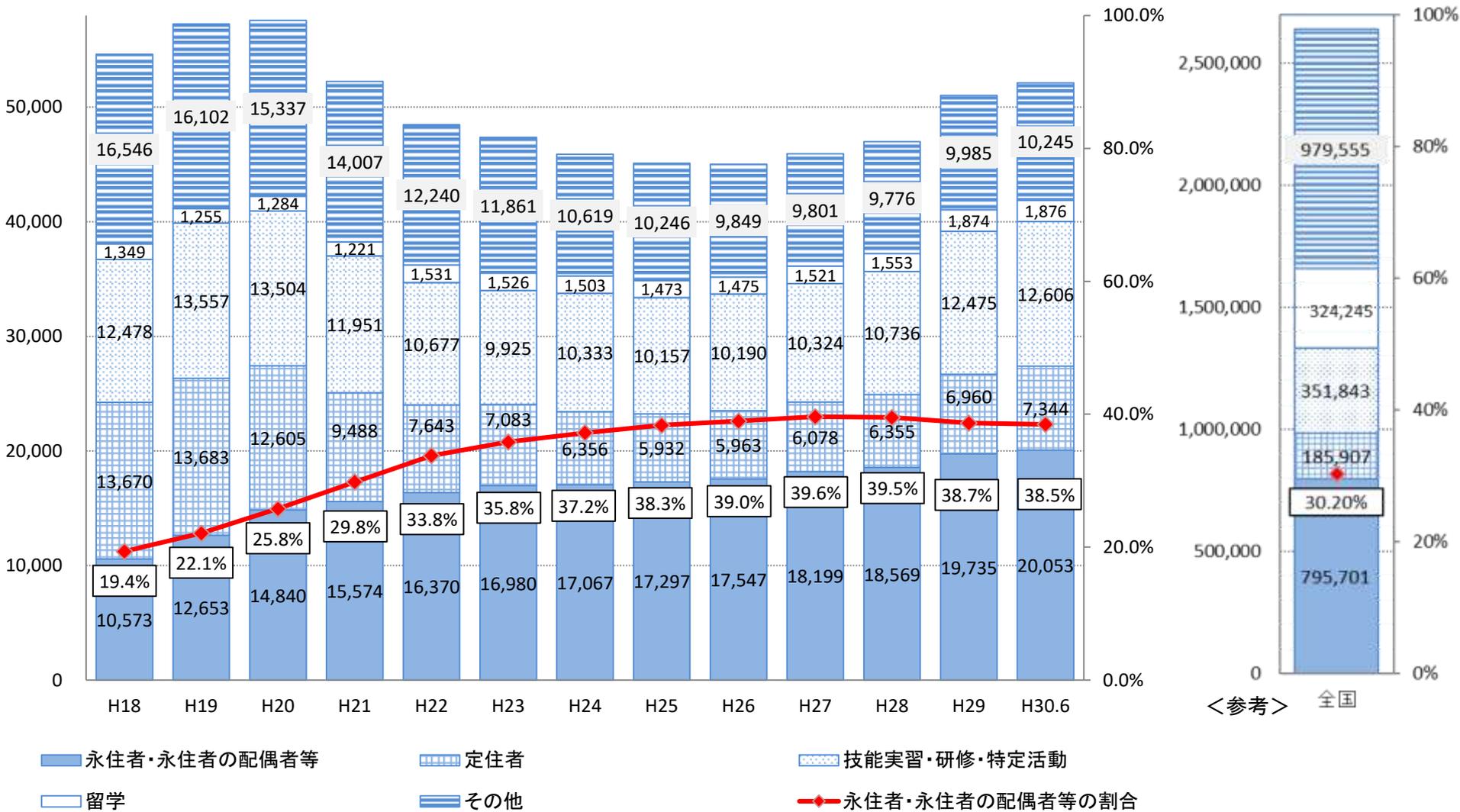


人口比率（％）  
H20→H30

(2.2⇒2.3) (7.5⇒7.4) (4.3⇒3.2) (11.3⇒8.7) (3.1⇒2.2) (3.9⇒4.1) (2.8⇒2.5) (1.4⇒1.8) (2.7⇒3.1) (1.3⇒2.0)

# 県内在住外国人の在留資格別推移

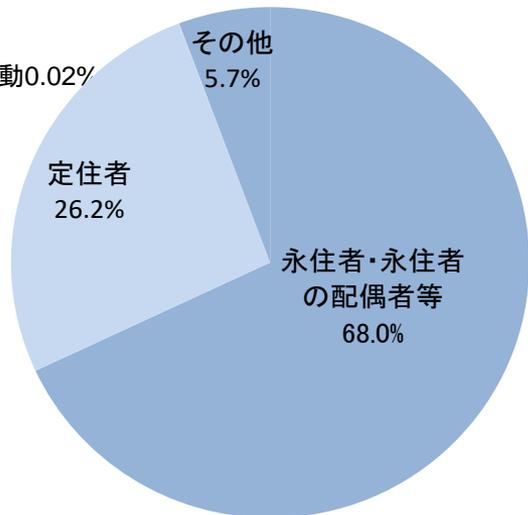
〔法務省「在留外国人統計」各年12月末、H30は6月末時点〕



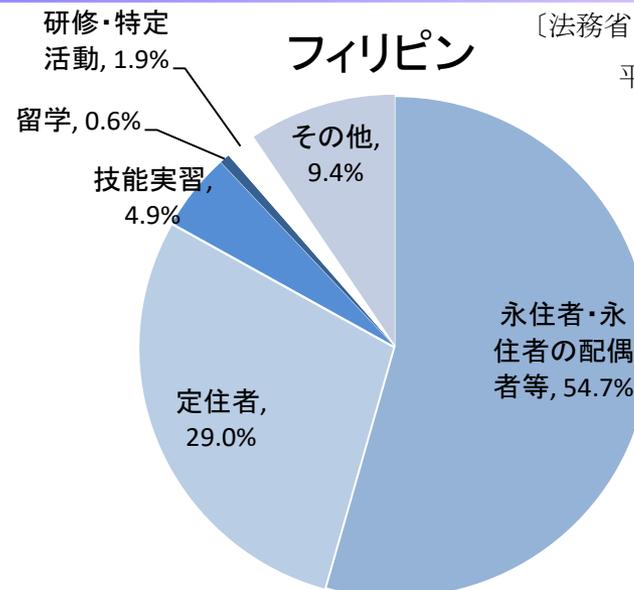
# 県内在住外国人の主な国籍別・在留資格別割合

〔法務省「在留外国人統計」  
平成30年6月末時点〕

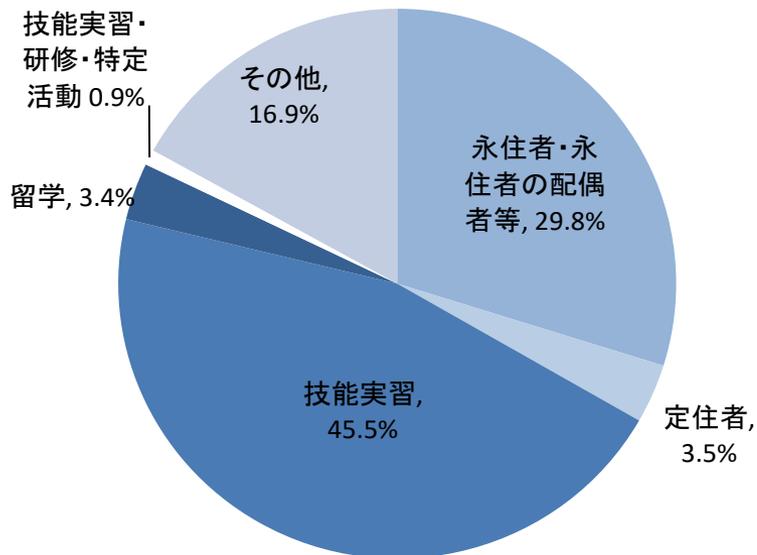
## ブラジル



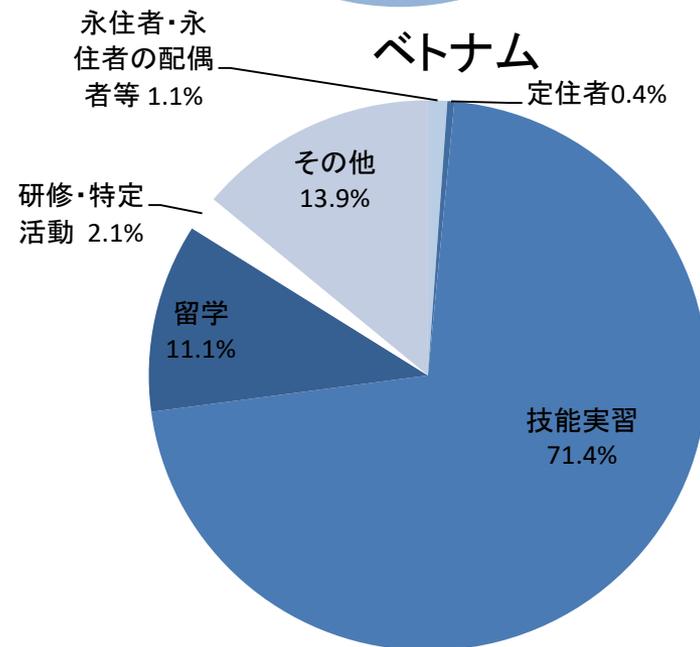
## フィリピン



## 中国



## ベトナム

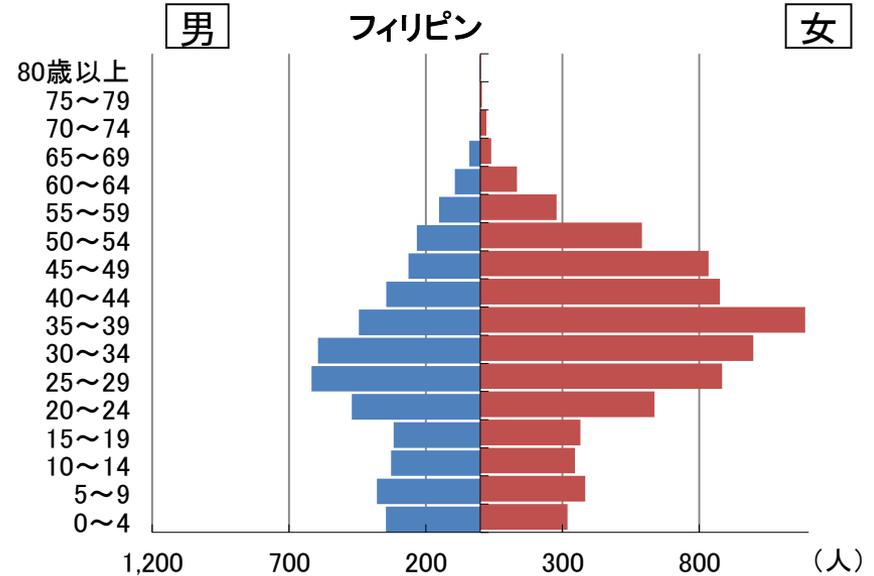
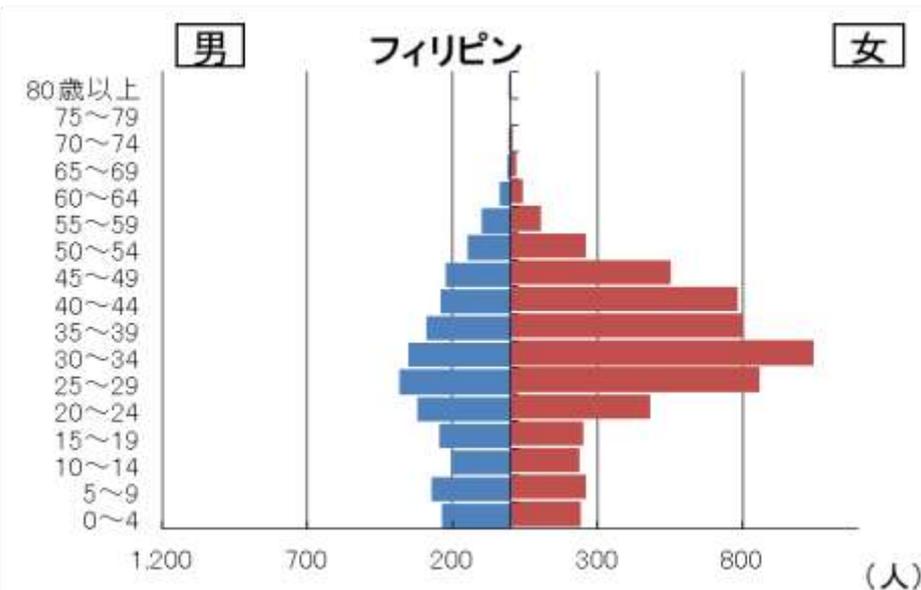
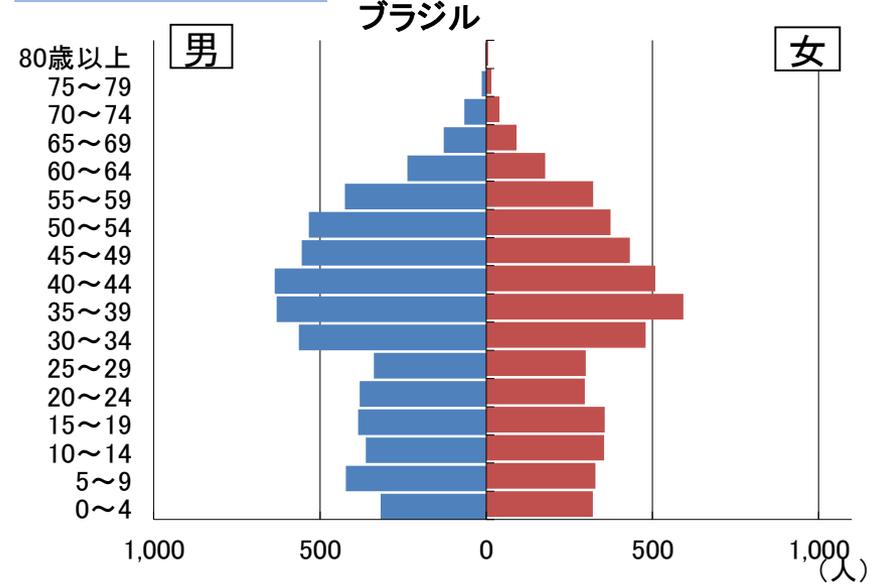
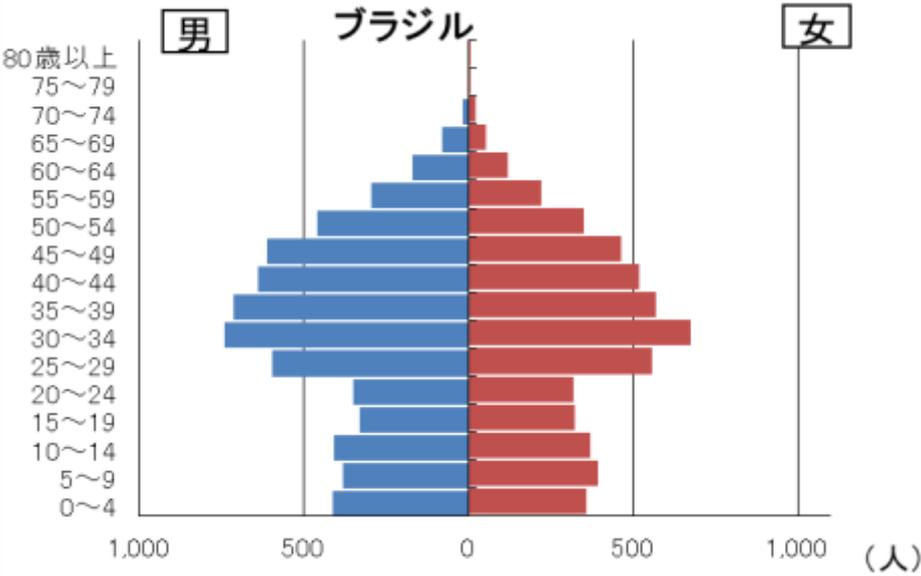


# 県内国籍別年齢構成（主な国籍別）

〔法務省「在留外国人統計」〕

平成24年12月末

平成30年6月末

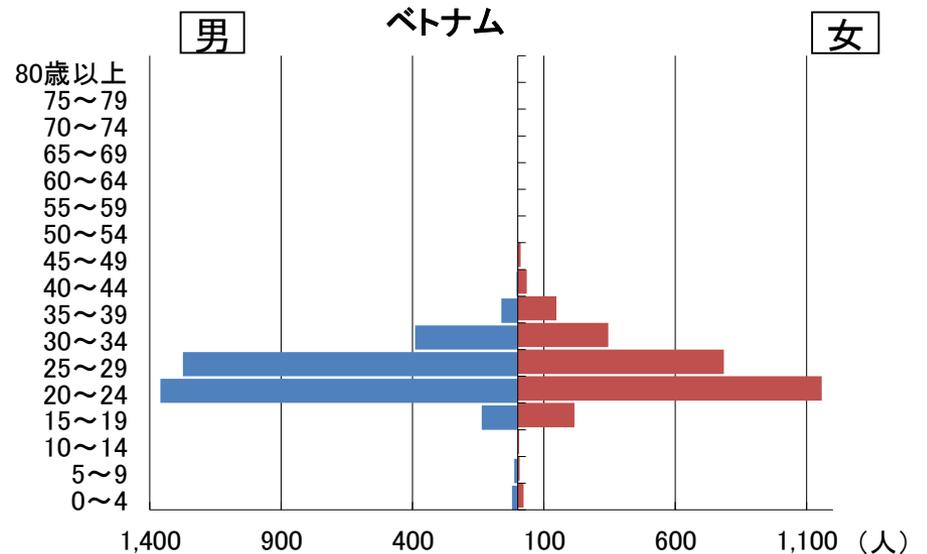
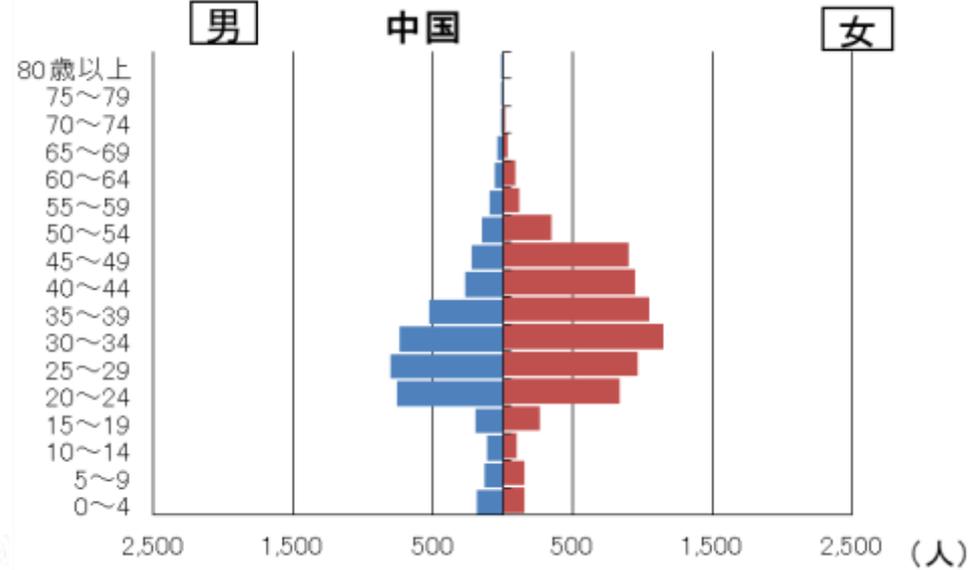
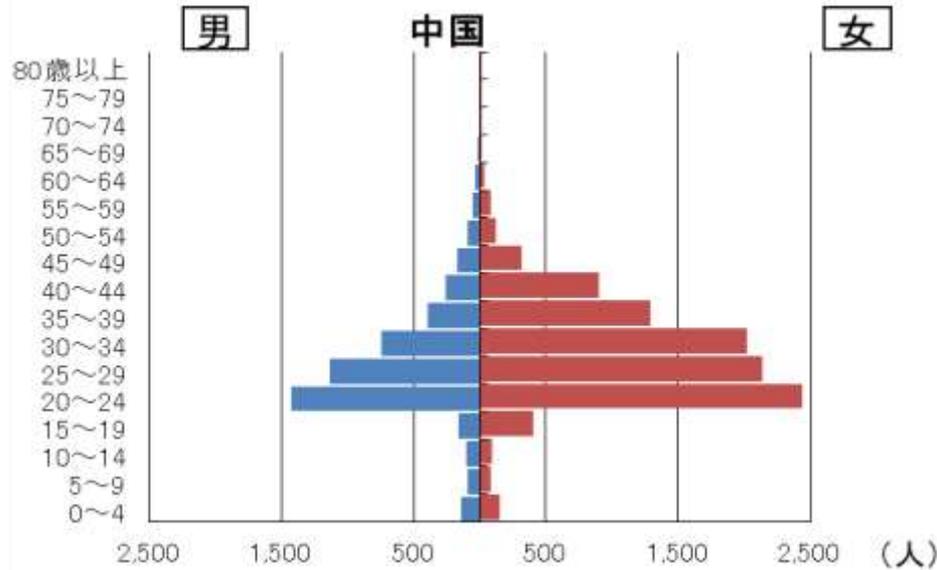


# 県内国籍別年齢構成（主な国籍別）

〔法務省「在留外国人統計」〕

平成24年12月末

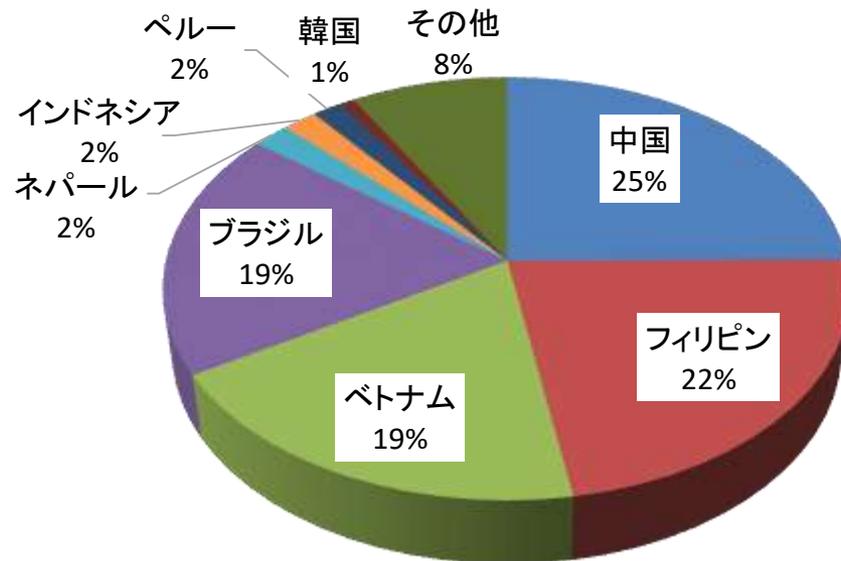
平成30年6月末



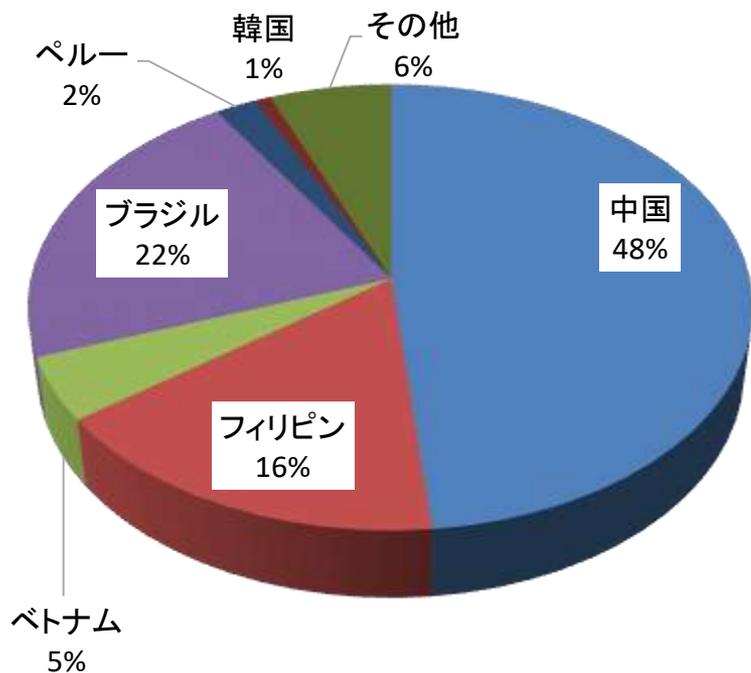
ベトナムの統計は平成29年から公表されている

# 在住外国人労働者の国籍別割合（H25とH30の比較）

平成30年10月



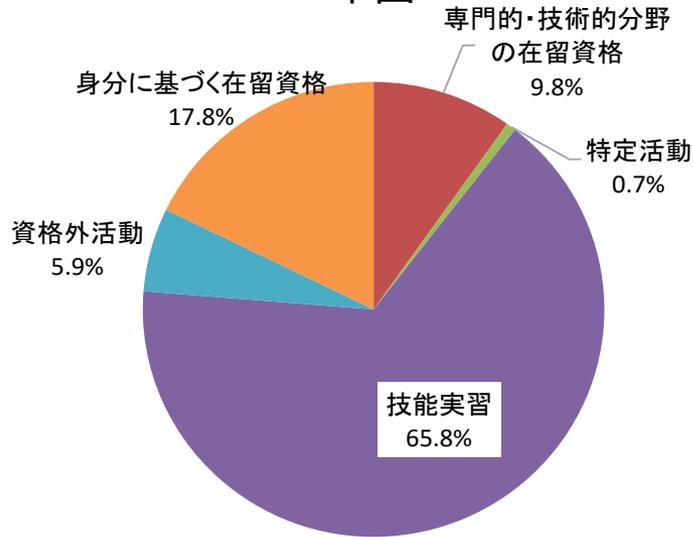
平成25年10月



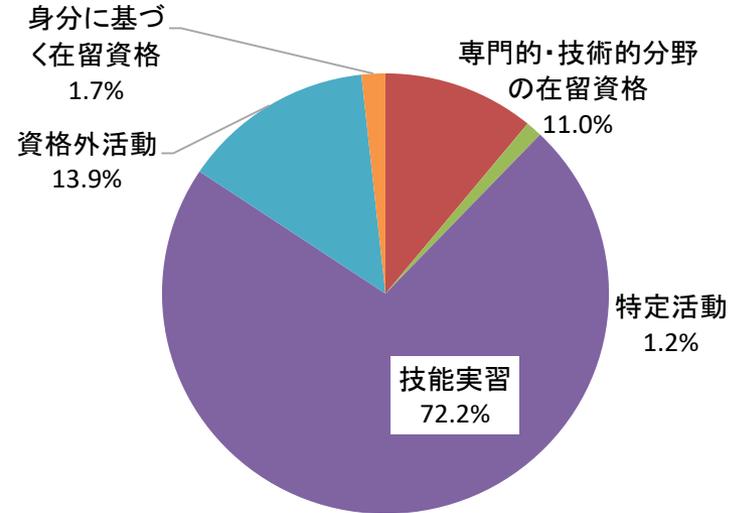
# 在住外国人労働者の在留資格

(主な国籍別：ブラジル、フィリピン除く)

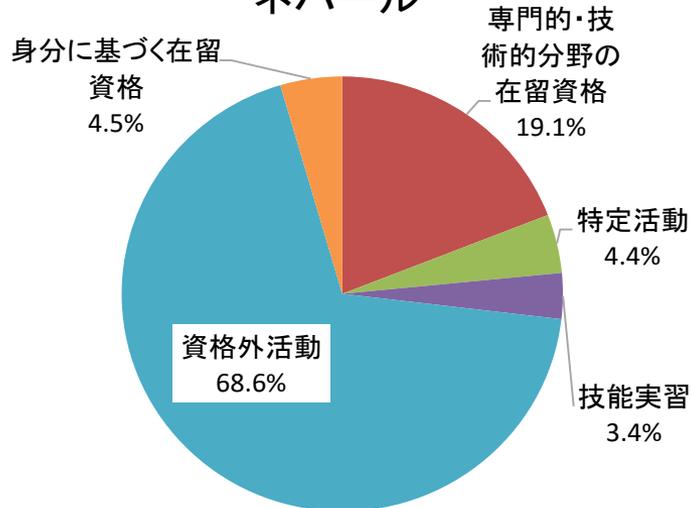
## 中国



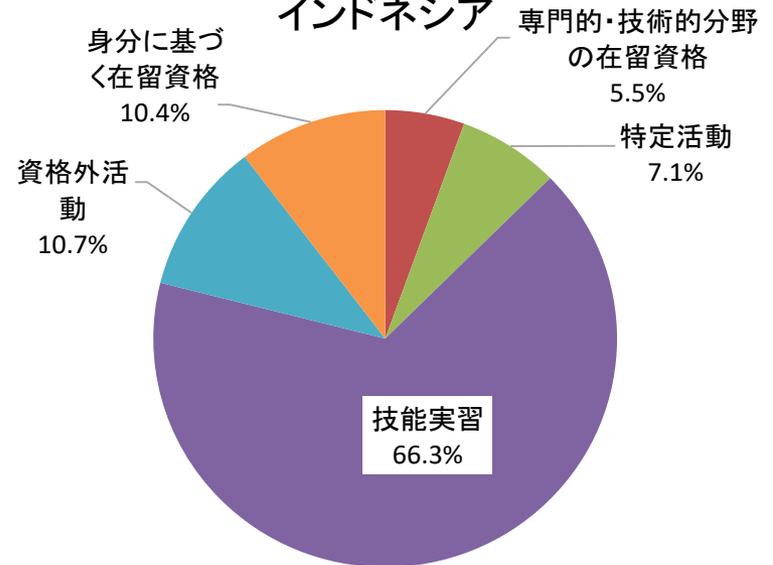
## ベトナム



## ネパール



## インドネシア



# 公立小中学校における外国人児童生徒の動向

(人) ※在住外国人数ピーク時のH20年からの推移

[県教育委員会調べ 各年10月1日時点、H30は5月1日時点]

